

上小緊急時対応マニュアル

レベルS

引受人（保護者または責任を持って保護者に引き渡せる人）が迎えに来て下校

想定される事態	連絡方法	学校の対応	保護者（家庭）の対応
1 仙台市内で、「 震度5強以上 」の地震発生 2 暴風雨により地域に災害が発生・ バス運行不可 3 学区内で大規模な火災や爆発など発生	一斉メール 緊急連絡網 【メール電話不可の場合】 災害用伝言ダイヤル	☆児童は引受人が来校するまで、学校で待機 ☆学校保管のカードにより確認し、引き渡す。 【NTT災害用伝言ダイヤル】 171-2-022-392-2381 （聞き方：裏面）	☆引受人が直接学校に児童を迎えに来る。 ☆「震度5強以上」の地震発生の場合は、連絡がなくても、来校する。 （一斉メール等不可の可能性があるので）

レベルA

集団下校A：教職員がバスに同乗し、引率して下校

想定される事態	連絡方法	学校の対応	保護者（家庭）の対応
1 地震により、通学路の建物が倒壊した場合 2 暴風警報が発令され、通学路が危険な場合 3 学校・学区内・隣接学区で殺傷事件などの重大事件が発生 4 下校時学区内に不審者が徘徊している場合 5 クマ等の出没の情報があり被害が懸念される場合	一斉メール（緊急連絡網） おたより	【バス運行可の確認】 ☆一斉に授業を終える。 ☆一斉メールで、バス乗車時刻を知らせる。 ☆下校方面ごと名簿で人数確認をする。 ☆教職員もバスに同乗し、送る。 ★必要に応じて、防犯ボランティアに協力を要請	【可能な保護者・家族】 ☆徒歩児童：通学路で見守りまたは、幹線道路まで出迎え。 ☆バス児童：最寄りの降車バス停まで出迎え。 ★迎えに来校する際は、バス出発時刻まで学校に電話連絡をする。

レベルB

集団下校B：教職員が、乗車するバス停まで送り下校

想定される事態	連絡方法	学校の対応	保護者（家庭）の対応
1 大雨・強風により、下校が懸念される場合 2 学区内・近隣学区で、不審者情報があった場合	一斉メール（緊急連絡網） おたより	【バス運行可の確認】 ☆授業は通常授業とする。（天候によっては、短縮の場合もあり） ☆下校方面ごと人数を確認する。 ☆徒歩児童には一定場所まで付き添う。 ☆バス児童には、乗車バス停まで送る ★必要に応じて、防犯ボランティアに協力を要請	【可能な保護者・家族】 ☆徒歩児童：通学路で見守りまたは、幹線道路まで出迎え。 ☆バス児童：最寄りの降車バス停まで出迎え。 ★迎えに来校する際は、バス出発時刻まで学校に電話連絡をする。

【災害用伝言ダイヤル（171）の聞き方】

学校では、一斉メール・緊急連絡網が使用できない緊急時に活用する予定です。

①

【171】をダイヤルする

②

再生を選ぶ
【2】

【ガイダンス】

こちらは、災害用伝言ダイヤルです。録音される方は「1」を、再生される方は「2」を、暗証番号を利用する録音は「3」を、暗証番号を利用する再生は「4」をダイヤルしてください。

③

上愛子小学校の電話番号を入力する
【022-392-2381】

【ガイダンス】

被災地の方はご自宅の電話番号、または、連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

④

プッシュ式電話
【1#】

【ガイダンス】

電話番号022-392-2381の伝言を再生します。プッシュ式の電話機をご利用の方は数字の「1」のあと#を押してください。ダイヤル式の方はそのままお待ちください。なお、電話番号が誤りの場合、もう一度おかけ直してください。

【学校よりの伝言の再生】

伝言例)

こちら上愛子小学校です。

本日13時30分に青葉区震度5強の地震が発生しました。お子さんを引き取りに来てください。

【ガイダンス】

新しい伝言からお伝えします。伝言を繰り返す時は、数字の「8」のあと#を次の伝言に移る時は、数字の「9」のあとに#を押してください。

【ガイダンス】

お伝えする伝言は以上です。

伝言を確認したら、電話をお切りください。
④の段階で通話料が発生します。

【参考】

路線バス乗車時刻

◆5時間授業の場合（授業は14：20に終了）

作並：14：23 仙台：14：41 定義：14：53

◆6時間授業の場合（授業は15：10に終了）

作並：15：23 仙台：15：13

*バス利用で「集団下校」する際は、乗車予定バス時刻をメールでお知らせします。